

第16回 キリスト教学校教育懇談会主催 講演会

「グローバル社会におけるキリスト教学校の役割

－多文化共生社会の課題－

日時 2018年11月17日(土) 13時～16時45分

会場 青山学院大学 930 教室 (予定) [東京・渋谷]

基調講演

■高桑 光徳* 氏「多文化共生社会の担い手を育成する」(仮題)

*明治学院大学教養教育センター教授。慶應大学、青山学院大学、ブリティッシュ・コロンビア大学(カナダ)で、言語学・応用言語学を学ぶ。2015年度より始まった明治学院大学「内なる国際化」プロジェクトでは横浜事務局を務める。

パネリスト

■足立インターナショナルアカデミー塾長 中村 友太郎* 氏

*1937年東京生まれ。1966年東京大学大学院比較文学・比較文化博士課程修了。キリスト教学者。上智大学名誉教授。現在、NPO法人足立インターナショナルアカデミー塾長に従事。訳書に B・ヘーリング『価値判断の根底を探る』(中央出版社、1990)、V・E・フランクフル『生きがい喪失の悩み』(講談社、2014)ほか。

■上智大学 ドイツ語学科 教授 木村 護郎クリストフ* 氏

*1974年名古屋生まれ。上智大学外国語学部ドイツ語学科教授、大学院グローバル・スタディーズ研究科国際関係論専攻教員。専門は言語社会学、言語教育学。主な著書：『マイノリティとは何か』ミネルヴァ書房、『外国研究の現在と未来』上智大学出版、『節英のすすめ』萬書房、『多言語主義社会に向けて』くろしお出版(ほか多数)。

☆**入場無料**☆ 主催：日本カトリック学校連合会
キリスト教学校教育同盟